

クリーニング業における高温・低温物との接触災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	10~11	クリーニング工場ですボンのプレス作業をしている時に、右手が挟まれ上記プレスされ火傷を負った。プレス作業は安全のためプレス機のボタンを両手で押した後、ズボンのずれに気づき、慌てて手を入れてしまった。	38~49	30
3	15~16	クリーニング工場内において、綿プレス機で白衣の横部分のプレス作業を行っていた際、本来は白衣を安全ピン等で固定してからプレス機のボタンを押すべきところ、急いでいたため手で固定して肘でボタンを押し、下がってきた熱板に右手を挟まれ火傷を負った。	52~49	30
5	14~15	工場内連続洗濯機横で、連続洗濯機の栓が外れたと連絡があった為、確認しようと保全担当車と電話しながら屈んでいたところ、外れた栓の場所から噴き出してきた熱湯が頭からかかった。	39~299	100
5	9~10	工場内にて、ズボンプレス機の上部にあるスポットクーラーのホースが落ちかけていた為、脚立に乗って戻そうとした際に体勢を崩し、横にあった剥き出しのズボンプレス機の配管を右手でつかんで火傷を負った。	48~29	10
7	8~9	工場内2号機で始動のためワックス布を通していている時つままったので取り除こうとロールとホルダーの間に入り布を引っぱった時体勢が整っていなかったためロール下の蒸気配管に接触し火傷するに致った。たいしたことはないと思い、そのままにしていたが腫れが広がってきた。	48~299	100
7	19~20	クリーニング工場において、Yシャツ等の水洗い衣類をプレス機で、衣服を整え後、スイッチを押す作業であるが、誤って左手をのけずに押ししまい、一瞬の間プレス機に挟まれてしまった。ハッとして、安全スイッチで停止したが、左手の	50~9	1~9

		甲と指3本をやけどしてしまった。		
7	10~11	クリーニング工場内でシャツをプレスするためにプレス機を扱っているときに、プレス機上部を上下させるスイッチに近くにあったハサミを用い、下がらないようにしていたが、誤ってハサミがはずれ、プレス機に左腕を挟まれ火傷した。	93	10 ~ 29
7	16~ 17	事業部ロール部門において、包布を流している際に包布の端の部分が中に入っていた為に直そうと手をのばし、包布に手を入れてしまい、ロールバットの下に手が入ってしまった。それにより、左手に火傷を負い、現在治療の為に入院している。入院後火傷による左手指の切断の処理が行われた。	19	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html